

発行 豊頃町
〒089-5392
中川郡豊頃町茂岩本町125番地
☎015(574)2216
発行日 2013年9月1日
編集 豊頃町企画課広報情報係

今月の表紙



今月の表紙は、8月10日に行われたとよころ夏まつりでの様子です。ハルニレンジャーショーが始まると子どもたちは大興奮。子どもたちの「がんばれ！」の声援で、ショーはより盛り上がりました。

役場などの連絡先

- ◆役場
☎(574)2211(代表)・FAX(574)3750(総務課)
- ◆各課等(ダイヤルイン)
- 総務課☎(574)2211
- 出納室☎(574)2212
- 住民課☎(574)2213
- 福祉課☎(574)2214
- 施設課☎(574)2215
- 企画課☎(574)2216
- 産業課☎(574)2217
- 農業委員会☎(574)2218
- 議会事務局☎(574)2222
- 教育委員会(教育課)☎(579)5801
- (図書館)☎(579)5802
- ◆支所・出先機関・町内関係機関
- 大津支所☎(575)2021
- こどもプラザとよころ☎(574)3931
- 給食センター☎(574)4600
- 社会福祉協議会☎(574)3143
- ◆地域情報通信基盤施設の故障受付窓口
NTT 東日本データセンター ☎0120(860)023
[24時間365日受付]

ホームページ

豊頃町
<http://www.toyokoro.jp/>
豊頃町社会福祉協議会
<http://www.h3.dion.ne.jp/~toyo-sha/>

豊頃町の人口と世帯

7月31日現在(前月比)
住民基本台帳に基づく

人口	3,456人(+1)
男	1,655人(+3)
女	1,801人(-2)
世帯	1,513世帯(-1)

町内の交通事故

平成25年1月1日
~8月10日(前年比)

交通事故死ゼロ	196日
発生	3件(-1)
死者	2人(+1)
傷者	3人(0)

目次

CONTENTS

02 クローズアップ おにごっこ 豊頃太鼓『艶遊会』

広報とよころ

- 04 Info-TOPICS ①「9月1日は防災の日」
- 05 Info-TOPICS ②「戸籍事務の電算化がスタートします」
- 06 Info-TOPICS ③「国民年金からのお知らせ」
- 07 Info-TOPICS ④「10月1日からパスポート(旅券)の申請・受取りの窓口が、役場になります」
- 08 はるにれは見ていた「2013とよころ夏まつり ほか」
- 11 駐在だより「盗難事件相次ぐ! ほか」
地域安全ニュース「秋の全国交通安全運動の実施 ほか」
- 12 健康だより「ロコモティブシンドロームを知っていますか?」
- 13 豊頃医院だより「CODPのはなし」
平成25年度町外通勤者助成金のご案内
- 14 みんなの図書館「図書館フェアへのご参加ありがとうございました ほか」
- 16 町民文芸 - Hello Anna

役場だより

- 17 INFORMATION ◎目次あり
主な施設の行事予定 ほか

裏 とよころカレンダー

告知 とよころ産業まつり

博愛号が配置されました



8月1日に日本赤十字社北海道支部から赤十字災害救援車「博愛号」が配置され、災害時の救援活動および移動献血の広報車として活用します。



Profile とよころだっこ『おにごっこ』
1991年結成。現在10人のメンバーで「とよころ産業まつり」をはじめ町内外のイベントで活躍中。写真は8月10日に行われた「とよころ夏まつり」の様子。

夏まつりでの力強い演奏も記憶に新しい豊頃太鼓『艶遊会』。会長の薄井正人さんにお話を伺いました。

町内外のイベントに引っぱりだこの『艶遊会』。結成のきっかけは薄井さんが夏まつりの盆太鼓を地元の有志がやっていたのを見て興味を持ち、何人かで叩いたのが一番の始まり。初めての演奏の感想は、「踊りのうまい人に自分が合わせていたのかもしれない」と太鼓の奥深さを感じたといいます。それ以来太鼓の魅力に取りつかれ、当時統内小学校にあった樽太鼓を借りて叩いたりしていたそうです。その後メンバーが集まり同好会を経て、現在の『艶遊会』になりました。

平成14年にはサマーランド市との姉妹都市締結5周年記念事業で初の海外公演が実現。慰問先に地元ケーブルテレビの取材が訪れ、その後に行われた演奏ではテレビを観た人たちがつめかけ、300人程が入る会場が満員になったそうです。

「冒に『ドン!』と響く『太鼓のパワー』をみんな楽しみにしている」と言うように茂岩神社で『魂入れ』をしている太鼓から響く力強い音色には感動すら覚えます。それでいて心地いいのは、太鼓の音色が胎児の時に母親のお腹の中で聞いた鼓動に似ているからだと言います。「演奏が始まるとみんな食い入るように見つめるんですよ。泣いている子どもが泣き止むんです」と言



『艶遊会』では練習以外にも交流を深めています。老若男女問わず新しいメンバーを募集していますので、皆さんも『聞き手』から『叩き手』になってみませんか?
(写真は薄井正人会長)

うように、力強くも、聴く人に安らぎを与えます。

去年、音更町で行われた「十勝ふるさと」の芸能フェスティバルで初めて観客として『艶遊会』の演奏を聴いた薄井さん。「みんなの緊張しながら叩く音がよく伝わりました。ステージから、みんなの調和した音が『ワッ!』と押し寄せて来て、とても感動しました」と結成から23年目にして改めて太鼓の素晴らしさを再確認しました。

今後の夢を聞いてみると、「メンバーの子どもたちが豊頃に帰ってきて、会を受け継いでくれるとうれしいですね」と話す薄井さん。

単純楽器だからこそ奥が深い。産業まつりに向けて新しいメンバーを加え日夜練習に励んでいます。